別記様式

令和７年度学校評価報告書

令和８年(2026年) ３月19日

北海道教育委員会教育長　様

北海道札幌国際情報高等学校長 印

次のとおり令和７年度の学校評価について報告します。

1　本年度の重点目標

1　質の高い学力の醸成及び社会に通用する探究的な学びを推進するための校内指導体制及び外部からの支援体制づくり
2　学科集合型高校の多様性を活かした探究的な学びをはじめとした教育機会の充実
3　育成を目指す資質・能力を向上させる恒常的かつ実効的なカリキュラムマネジメントの実践
4　安全安心の学びを保障するために、生徒の健康と安全に配慮した機動的かつ重層的な生徒の支援体制を構築する。

2　自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学習指導	・各教員が習得・活用・探究を意識した授業改善に取り組み、授業評価アンケートを活用したＰＤＣＡサイクルに基づく改善が一定程度進んだ。 ・主体的な学びや思考力・表現力の育成を意識した授業を実践している。	・学校は教育目標や重点目標を具現化するという意識のもと、改善や活性化を図りながら日常の教育活動を行っている。
改善方策	・授業改善の取組状況や成果には差がある。今後も組織的な支援と情報共有が必要である。 ・生徒が「自ら考えている」「表現している」といった実感は依然として低く、生徒の思考力・表現力の育成を意識した教育活動の機会をさらに充実させていく。	
生徒指導	・生徒は基本的生活習慣を身に付け、本校生徒としての自覚を持って生活している。 ・問題行動の未然防止・早期発見に向け、家庭や地域・関係機関との連携が概ね図られている。 ・生徒理解に努めるとともに、望ましい友人関係の構築やいじめの未然防止に努めている。	・学校は、生徒理解に努めるとともに、望ましい人間関係の構築やいじめの未然防止に努めている。
改善方策	・学年・分掌・部活動との連携を密にし、生徒が健康で安全な学校生活を送れるよう実践していく。 ・授業・学校行事を始めとする全ての教育活動において、生徒理解、望ましい友人関係の構築やいじめの未然防止に努める。 ・生徒理解に係る情報交換会を開催し、より組織的な生徒支援体制をつくる。	

健康・安全指導	・特別支援教育コーディネーター面談による担任との情報共有、スクールカウンセラーによるオンライン面談の実施など、教育相談体制の充実を図ることができた。 ・校内の環境美化について、適切な配慮がなされている。	・心の健康教育等、学校教育相談の充実が十分に図られている。
改善方策	・個別の支援計画の作成・活用については、作成マニュアルを整備したり、特別支援教育コーディネーターの役割をさらに充実させるなどして、積極的な活用に向け工夫していく。	
進路指導	・進路集会・インターンシップ・出張講義の実施は、生徒の進路活動開始の有効なきっかけとなっている。 ・進路保護者説明会は、その前後に実施している保護者懇談も含めて、保護者との貴重な情報交換の場となっている。	・進路通信や保護者説明会等により、進路に関する情報提供が適切に行われている。
改善方策	・進路活動・出願手続きにおけるミスの未然防止に向け、生徒・保護者との連携を密にすることに加えて、教員による再点検・再々点検の体制整備をさらに充実させていく。	
公表方法	・学校ホームページに学校評価報告書を掲載する。 ・学校評議員会等の機会を利用して、学校関係者評価を公表する。	

3　添付資料

(1) 自己評価書（「学校評価教職員のまとめ」）

(2) 学校関係者評価（「学校評価保護者のまとめ」を含む）